

擁壁予防保全計画



令和4年3月
東京都 建設局

「擁壁予防保全計画」の策定にあたって

道路は、日常の都民生活や都市活動を支えるとともに、災害時には救助救援活動や緊急物資輸送など、生命と財産を守る極めて重要なインフラです。その中で擁壁は、斜面や高低差のある土地等が崩れないよう、安定及び保護を目的として構築され、安全な一般交通の確保には欠かすことのできない道路施設です。

建設局が管理する擁壁の多くは、都市内や都市間を結ぶ重要路線に構築されており、造り替えが困難な施設であることから、適切な維持管理により長期間供用していく必要があります。

これまで建設局では、擁壁などの道路施設に対して5年に一度の定期点検を行い、適宜修繕を実施することで道路の崩壊や重大な事故の発生を未然に防いできましたが、建設年次の古い道路施設は、今後一斉に更新や大規模修繕の時期を迎えます。建設局の管理する擁壁は4,500か所と膨大であり、更新や大規模修繕には多くの費用が必要であるため、工事費用の平準化と総事業費の縮減が不可欠です。また、更新工事等に際しては、通行止めが生じる等、一般交通への影響が大きいため、可能な限り長期間の供用を目的とした持続可能なメンテナンスサイクルの構築が強く求められます。

このため、今般、「擁壁予防保全計画」を策定しました。

本計画に基づき、擁壁の予防保全型管理を推進し、良質な社会資本ストックを次世代に引き継ぎ、都民の皆様が安全で快適に暮らせる社会の実現を目指してまいります。

令和4年3月

東京都建設局長

中 島 高 志

目 次

第1章	はじめに	1
1-1	背景	1
1-2	目的	1
1-3	計画期間	1
1-4	計画の位置付け	1
第2章	管理擁壁の現状	2
2-1	擁壁とは	2
2-2	管理擁壁の規模	4
第3章	定期点検の実施状況	6
3-1	定期点検の概要	6
3-2	定期点検の結果	7
3-3	定期点検における主な損傷（例）	8
第4章	予防保全型管理の推進	9
4-1	対象施設	9
4-2	優先順位	9
4-3	措置の方針	9
4-4	修繕の例	10
4-5	事業効果	12
4-6	取組の継続とスパイラルアップ	13
別紙	対象施設一覧表	

第1章 はじめに

1-1 背景

東京都建設局（支庁含む。以下「建設局」という。）では、道路法（昭和二十七年法律第百八十号）に基づき、市街地、山間部、島しょ部等多様な地域において、様々な工法で設置された4,500か所の擁壁（掘割道路^{※1}を含む。）を管理している。

建設局で管理する擁壁（以下「管理擁壁」という。）は、古くから道路の整備と共に構築されてきたため、建設年次が古いものが多く、今後、大規模修繕^{※2}を実施することが必要になりかねない。管理擁壁の劣化や損傷による一般交通への影響などを未然に防ぎ、都民生活の安全を確保するため予防保全型管理^{※3}に取り組んでいく必要がある。

このため、全ての管理擁壁を対象に取組の方針を示した擁壁予防保全計画（以下「本計画」という。）を策定する。

1-2 目的

本計画は、予防保全型管理を実施することで、供用期間中、全ての管理擁壁を健全な状態に保ち、良好なインフラを次世代に引き継ぐとともに、工事費用の標準化と総事業費の縮減を図ることを目的に策定する。

1-3 計画期間

本計画の計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とする。

1-4 計画の位置付け

本計画は、都の基本計画である『未来の東京』戦略（令和3年3月）の実現に向け、道路の計画的な予防保全型管理を推進し、都市インフラの安全性を高め、安心できる社会の確立を目指す取組を示すものである。

また、本計画は「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）^{※4}」としても位置付けている。

※1 掘割道路

地上部（原地盤）から開削等で構築する地下道路構造物の一方式であり、擁壁等により両側の地盤を押しやる形式を示す。

※2 修繕

補修や補強に向けた設計（調査含む）、補修等の工事のことをいう。

※3 予防保全型管理

機能や性能に不具合が生じる前に修繕等の措置を実施する管理手法をいう。なお、予防保全型管理と対照的に、機能や性能に不具合が生じてから修繕等の措置を実施する管理手法は事後保全型管理という。

※4 インフラ長寿命化計画（個別施設計画）

平成25年11月にインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において、国や地方自治体等がインフラの戦略的な維持管理・更新に取り組むための「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、この中で、地方公共団体においても、インフラの維持管理・更新を着実に進め、インフラの長寿命化に向けた個別施設毎の対応方針を定める「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」の策定が求められた。

第2章 管理擁壁の現状

2-1 擁壁とは

一般に、擁壁は道路において土砂の崩壊を防ぐために設置される構造物である。設置場所に応じて盛土部擁壁及び切土部擁壁に区分され、一般交通の安全かつ円滑な状態を確保している。

擁壁は、主要部材の材料や形状、力学的な安定のメカニズム等により、様々な種類に分類される。主にその構造形式や設計方法の相違により、コンクリート擁壁、補強土壁、軽量材を用いた擁壁及びその他の擁壁に大別される（図-1、図-2、写真-1）。

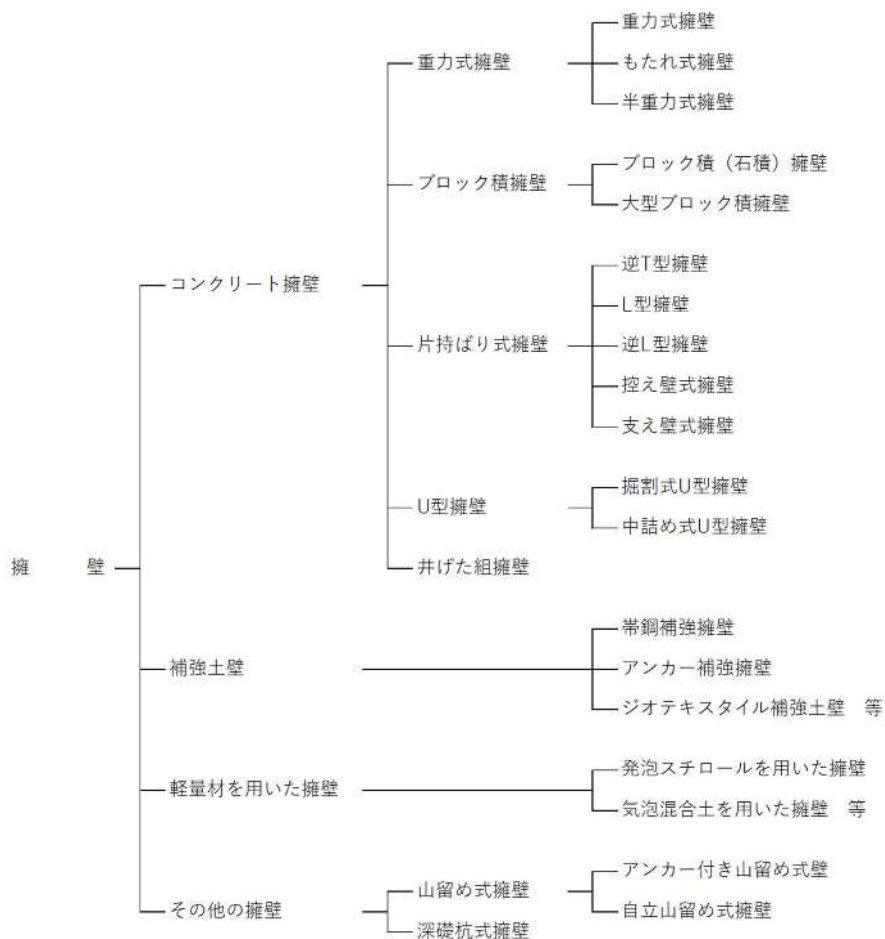


図-1 擁壁の種類

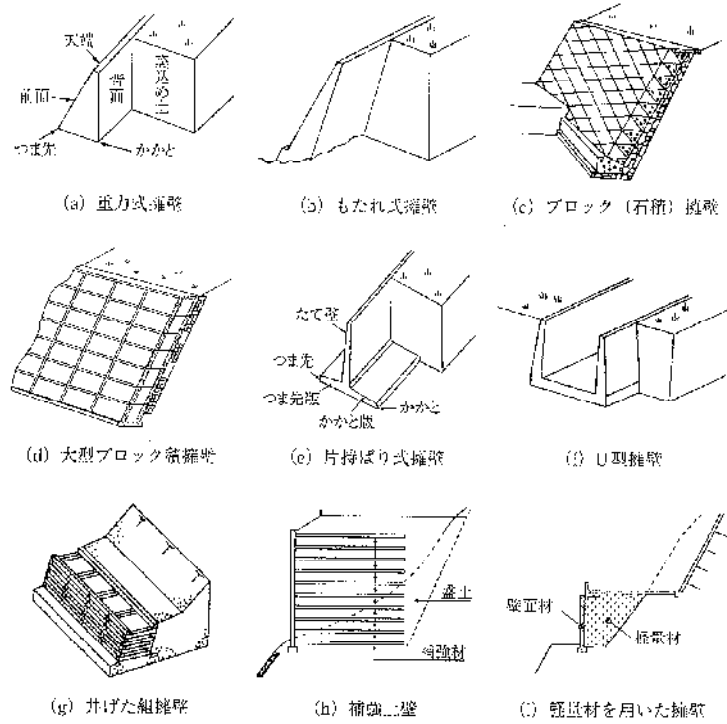


図-2 擁壁の形式



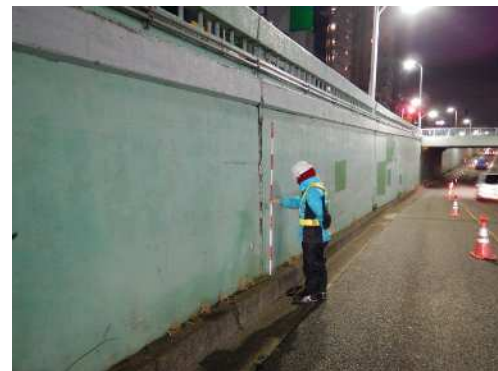
擁壁：ブロック積み擁壁



擁壁：重力式擁壁



掘割道路：L型擁壁



掘割道路：逆T式擁壁

写真-1 擁壁の例

2-2 管理擁壁の規模

管理擁壁は4,500か所あり、様々な大きさの施設があるが、一般に縦断方向に長い構造物である。管理擁壁の施設延長に着目すると、15m以上50m未満が約4割で最も多い(図-3)。また、擁壁高に着目すると、3m以上5m未満が約4割で最も多い(図-4)。

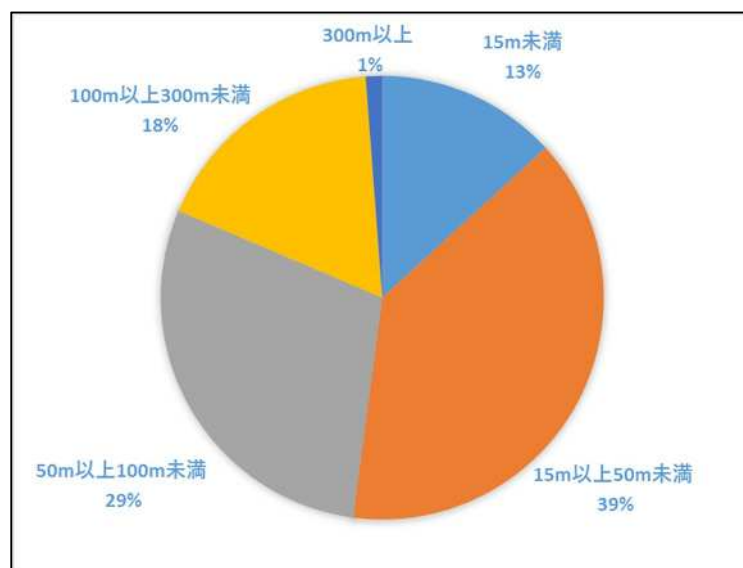


図-3 施設延長毎の割合

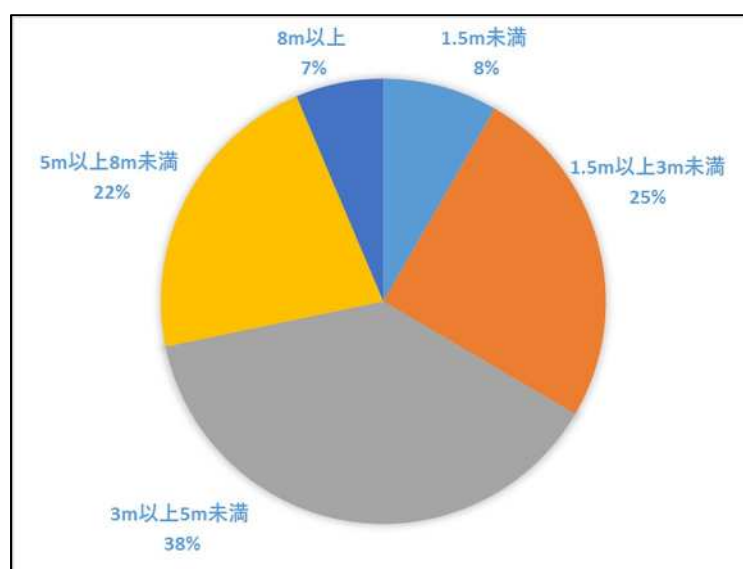


図-4 擁壁高毎の割合

管理擁壁の種類別の割合は、図-5 に示すとおりであり、全体の約6割がブロック積擁壁となっている。

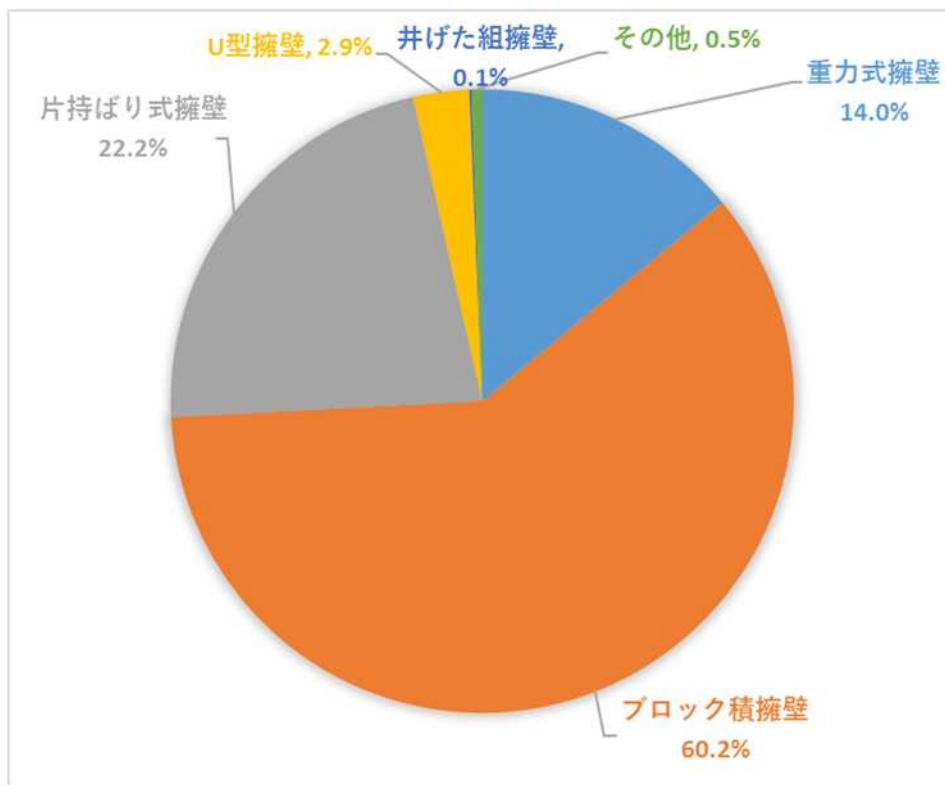


図-5 種類別の割合

第3章 定期点検の実施状況

3-1 定期点検の概要

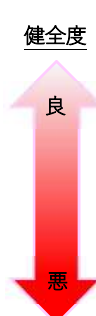
建設局では、「道路施設点検調査要領書」（平成25年9月 東京都建設局道路管理部）に基づき、定期点検を5年毎に実施しており、管理擁壁毎の健全度を把握している。

表-1 に定期点検における健全度の指標を示す。健全度は4段階（ランク1～4）に分類されている。ランク4は「損傷がほとんどない」状況として健全な状態との判定を示し、ランク1は「損傷が大きい又は道路利用者へ影響を与える可能性がある」状況として対応の検討が必要であるとの判定を示している。

これまで、定期点検の結果に応じて、管理擁壁の修繕を適宜実施することで、道路ネットワークの寸断や重大な事故の発生を未然に防いできた。

表-1 定期点検における健全度(判定区分)

健全度 (判定区分)	状 況
ランク4： 健全	損傷がほとんどない
ランク3： ほぼ健全	損傷が小さい
ランク2： 注意	損傷が中程度
ランク1： 対応の検討	損傷が大きい又は道路利用者へ影響を与える可能性がある



3-2 定期点検の結果

管理擁壁の最新の定期点検による健全度別の施設数の割合は図-6 に示すとおりである。

管理擁壁 4,500 か所のうち、「損傷が大きい又は道路利用者へ影響を与える可能性がある」状況として対応の検討が必要であると判定されたランク 1 の管理擁壁は 224 か所であった。

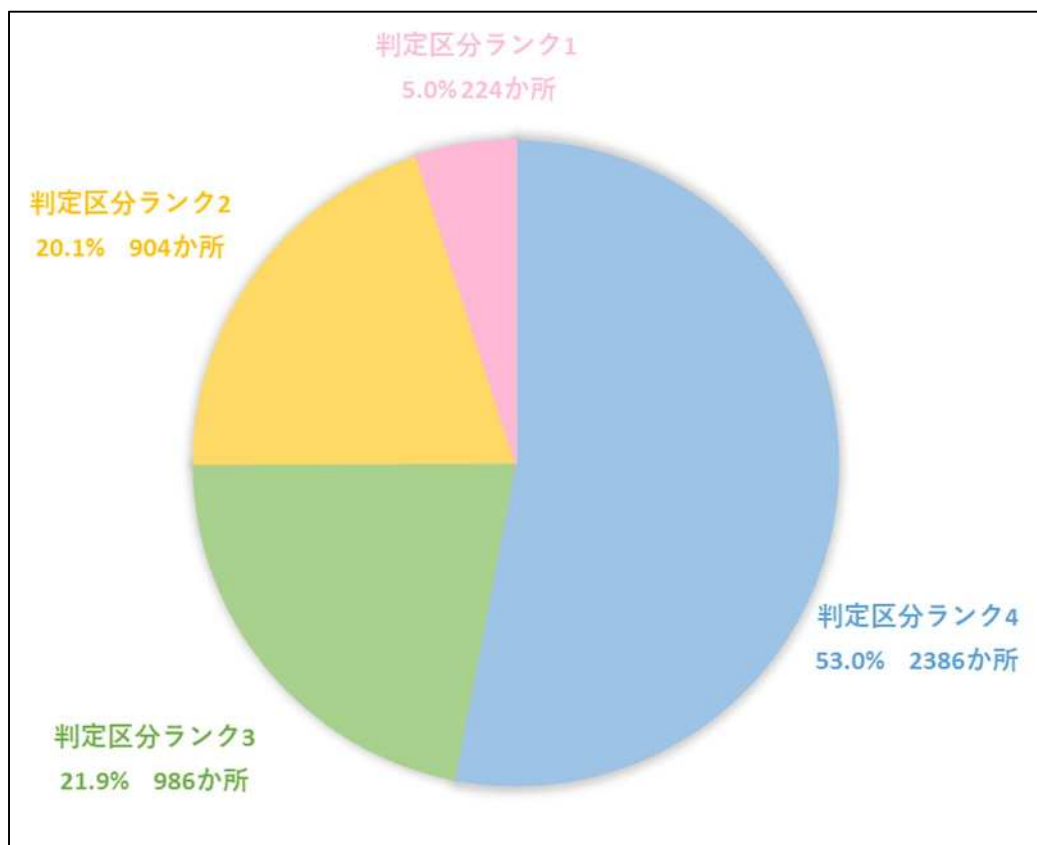


図-6 定期点検結果

3-3 定期点検における主な損傷（例）

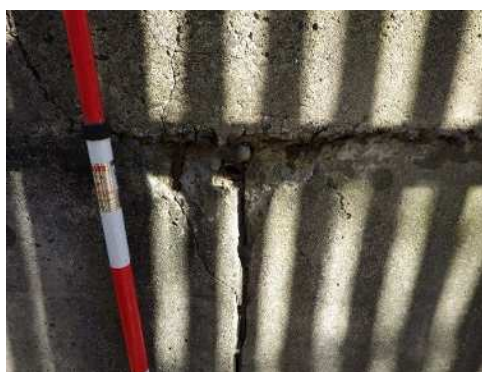
定期点検で確認された主な損傷事例を写真-2に示す。コンクリート構造物の代表的な損傷であるひび割れ、はく離・鉄筋露出等が見受けられる。



① ひび割れ
(ランク 1 相当)



② ひび割れ
(ランク 2 相当)



③ はく離・鉄筋露出
(ランク 1 相当)



④ はく離・鉄筋露出
(ランク 1 相当)



⑤ 移動 (ずれ)
(ランク 2 相当)



⑥ 変形 (はらみだし)
(ランク 2 相当)

写真-2 管理擁壁の損傷事例

第4章 予防保全型管理の推進

4-1 対象施設

定期点検において健全度がランク1と判定された施設は「損傷が大きい又は道路利用者へ影響を与える可能性がある」状況にあるため、優先的に措置^{※1}すべき施設である。健全度がランク2～4と判定された施設には損傷は存在するが、損傷自体が道路利用者へ与える影響は比較的小さいものである。

健全度がランク1である管理擁壁は224か所と多く、短期間に集中して修繕するには、多くの費用と人員を必要とする。

これらの管理擁壁の現状等を踏まえ、予防保全型管理を推進する第一歩として、今後10年間で着手する管理擁壁は、健全度がランク1の施設224か所（別紙「対象施設一覧」）とする。

4-2 優先順位

対象施設の措置に際しては、「迂回路の有無」、「路線の利用頻度」、「特殊な利用目的による指定路線」、「災害復旧の困難度」等の重要度を管理擁壁毎に考慮し、優先順位を定めて計画的に取り組む。

4-3 措置の方針

予防保全型管理として管理擁壁の修繕を実施する際は、大きな損傷の修繕に加え、比較的軽微な損傷についても修繕の対象とし、施設の健全度がランク4（健全）又はランク3（ほぼ健全）となるよう努めるものとする。

高さが8mを超える管理擁壁について、移動・変形・傾斜といった損傷が確認されている場合は、補強等の必要性を検討し、検討結果に応じた措置を実施する。

なお、管理擁壁は民家に近接し施工が困難な箇所等もあるため、周辺環境や躯体の状況等を踏まえ、直ちに修繕が実施できない場合は監視^{※2}により、施設の安全を把握する。

※1 措置

補修や補強に向けた設計（調査含む）、補修等の工事、安全を確保するための監視のことをいう。

※2 監視

1回/年の定期巡回や機器を用いた計測等により、変状の挙動を追跡的に把握するために実施するものをいう。

4-4 修繕の例

「4-3 措置の方針」に基づき、修繕を実施する際には、各管理擁壁の損傷の状態や各種調査結果、周辺環境等を踏まえ、必要な詳細調査を実施する等、個別に修繕の内容を定める必要がある。

参考として、損傷種類毎の修繕の例を表-2 に示す。

表-2 補修対策(例)

No.	損傷種類	目的	修繕の例
1	ひびわれ	劣化因子の遮断	断面修復工法
2	浮き、はく離、鉄筋露出	躯体脆弱部の修復	ひび割れ充填工法
3	補修箇所の変状	劣化因子の遮断	断面修復工法
4	目地からの背面土砂流出	劣化因子の遮断	ひび割れ充填工法
5	移動（ずれ）	構造物の安定化	詳細調査に基づき修繕等を実施
6	沈下（段差）		
7	変形（はらみだし）		
8	傾斜		

※劣化因子：二酸化炭素、酸素、水等

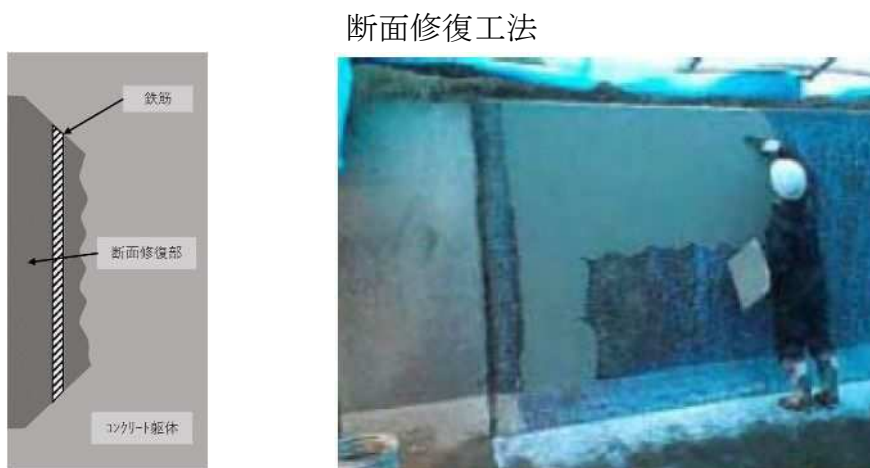
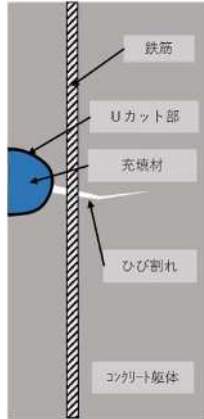
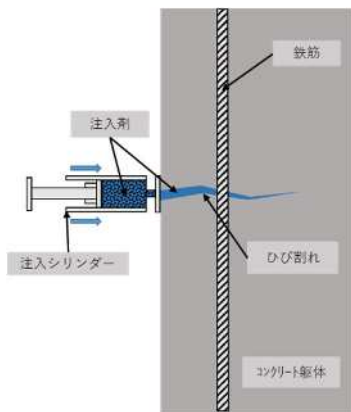


図-7 うき・はく離・鉄筋露出補修イメージ

ひび割れ充填工、ひび割れ注工



ひび割れ充填工



ひび割れ注工



図-8 ひび割れ補修イメージ

4-5 事業効果

本計画による事業効果は以下のとおりである。

① 道路利用者の安全・安心の確保

予防保全型管理を行うことにより、事故の発生を未然に防ぎ、道路利用者の安全・安心を確保していく

② コスト削減（参考）

事後保全型管理と比較し、管理擁壁を健全な状態に維持する予防保全型管理によると、100年間で約1,000億円のコスト削減効果^{※1}がある。

なお、今後5年間の事業費については、約10億円と推計しているが、工事実施に当たっては、詳細な設計を行い、管理擁壁毎に必要な事業費を改めて算出する。

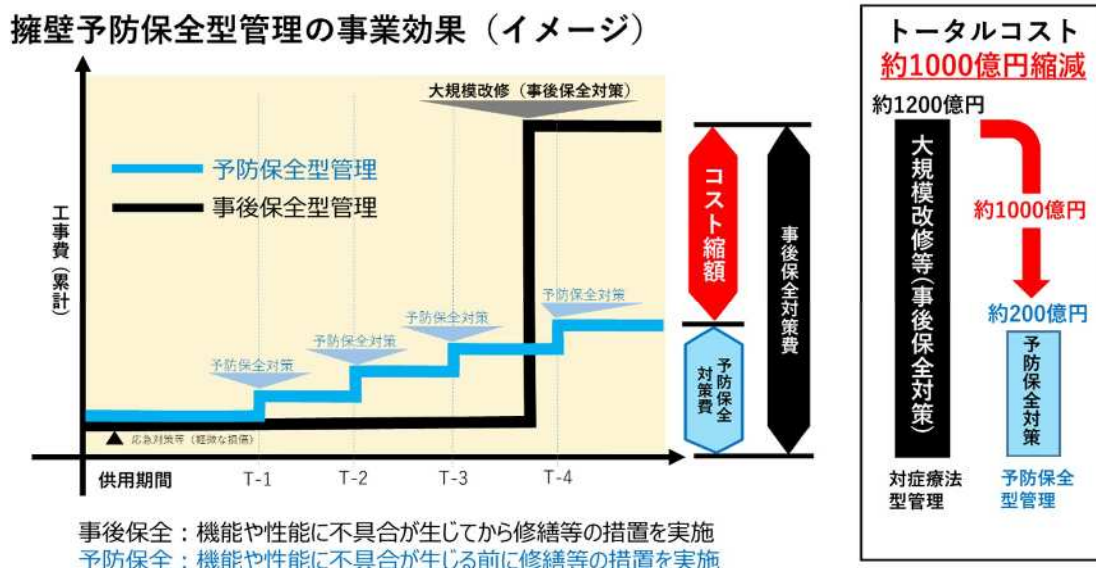


図-9 擁壁予防保全型管理の事業効果(イメージ)

※1 コスト削減効果

事後保全型管理の事業費（「原単価（工種別単価当りの概算工事費） 国土交通省 関東地方整備局 令和元年8月」を参考に算出した擁壁の再構築費用）と予防保全の事業費（点検結果等を基に予測した損傷の補修に要する費用）を比較した。

4-6 取組の継続とスパイラルアップ

予防保全型管理を着実に推進していくために図-10 に示すようなメンテナンスサイクルを構築し、継続していく必要がある。

計画（PLAN）に基づく補修設計・工事实施（DO）の後、5年ごとの定期点検結果や補修実績を検証（CHECK）し、補修技術などの新たな知見を取り入れて、優先順位及び事業費の見直し（ACTION）を行い、計画に基づく取組をローリングしていく。

予防保全型管理を更に推進すべく、以下の事項に留意し、メンテナンスサイクルをスパイラルアップ^{※1}させ、施設の安全を確保する。

①定期点検の確実な実施

5年ごとの定期点検を確実に実施し、管理擁壁の現状を正確に把握する。

②点検結果と計画の検証

点検結果や取組実績を分析し、社会情勢に応じて対策の優先順位や事業費の検証を実施する。

③予防保全計画の見直し

①、②を踏まえ予防保全計画を見直す際に、維持管理水準を高める等、更なる予防保全型管への転換とコスト縮減を目指す。

（例：措置の対象施設を健全度がランク2と判定された施設に拡大する等）

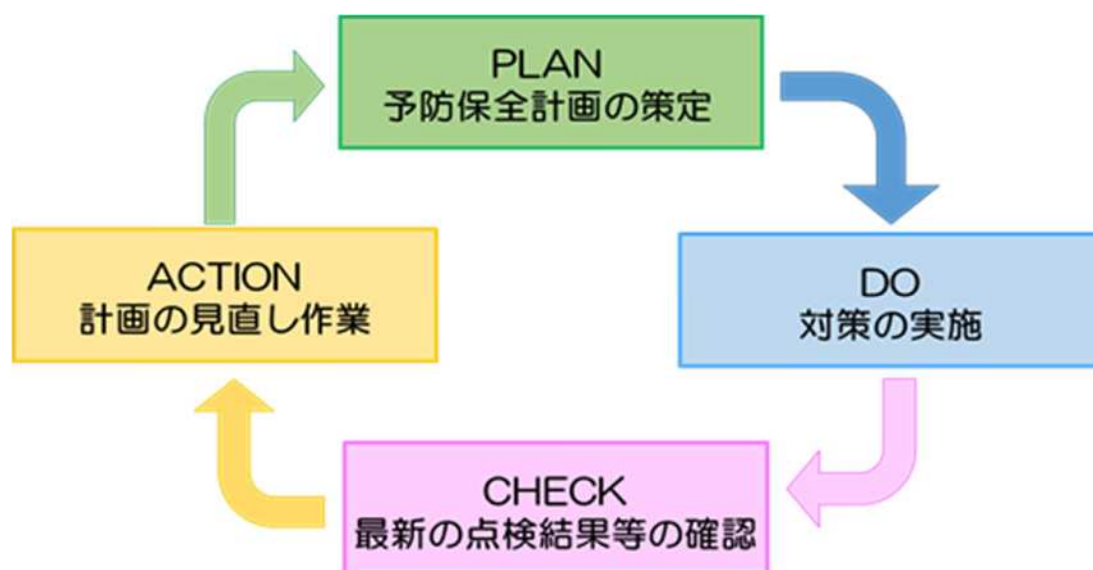


図-10 メンテナンスサイクル概念図

※1 スパイラルアップ

予防保全計画の策定（PLAN）、対策の実施（DO）、最新の点検結果等の確認（CHECK）、計画の見直し（ACTION）というメンテナンスサイクルをローリングしながら、計画の見直し作業（ACTION）時に維持管理水準を引き上げる等して、螺旋状に取組をレベルアップしていく概念をいう。

対象施設一覧表

管理事務所	管理番号	延長 (m)	擁壁高 (m)	路線名
第一建設事務所	A050G0620	120.0	3.0	主要地方道50号
	A475G0610	84.0	2.3	特例都道475号
	B480G0610	355.0	5.8	特例都道480号
	B413G0610	76.0	9.5	特例都道413号
	B418G0050	765.0	2.7	特例都道418号
	B316G0650	132.0	3.0	主要地方道316号
	A050G0610	39.0	6.0	主要地方道50号
	B412G0610	265.0	5.2	特例都道412号
第二建設事務所	B318G0010-00	158.0	6.9	主要地方道318号
	G416G0060-00	26.0	2.4	特例都道416号
	G414G0020-00	33.7	1.9	特例都道414号
	B318G0060-00	27.0	3.0	主要地方道318号
第三建設事務所	C319G0050-00	58.7	2.5	主要地方道319号
	C405G0010-00	80.0	3.9	特例都道405号
	C302G0060-00	275.0	5.7	主要地方道302号
	C302G0050-00	99.9	5.7	主要地方道302号
	C440G0020-00	36.0	3.5	特例都道440号
	C025G0040-00	9.8	3.8	主要地方道25号
	C428G0020-00	73.8	3.1	特例都道428号
第四建設事務所	D311G0650-00	5.0	5.2	主要地方道311号
	D446G0030-00	103.7	16.4	特例都道446号
	D446G0050-00	60.4	6.3	特例都道446号
	D317E0811-00	570.0	7.5	主要地方道317号
第五建設事務所	E306G6220-00	62.6	3.2	主要地方道306号
	E306G0300-00	17.8	1.4	主要地方道306号
	E027G0200-00	108.7	2.5	主要地方道54号
	E306G0400-00	23.5	2.2	主要地方道306号
第六建設事務所	F318G0010-00	189.7	8.1	主要地方道318号
	F405G0010-10	20.1	1.5	特例都道405号
	F405G0020-00	109.7	9.1	特例都道405号
	F318G0100-00	72.0	4.6	主要地方道318号
	F318G0640-20	78.8	4.7	主要地方道318号
	F318G0640-30	90.0	4.9	主要地方道318号
	F449G0150-00	787.1	4.6	特例都道449号
	F449G0160-00	245.0	8.7	特例都道449号
	F449G0170-00	810.1	4.6	特例都道449号
	F449G0070-00	343.5	4.3	特例都道449号
	F449G0200-10	609.8	2.4	特例都道449号
	F449G0090-00	275.0	4.3	特例都道449号
	F314G0010-00	82.0	4.4	主要地方道314号
	F314G0020-00	81.2	4.0	主要地方道314号
	F455G0610-10	42.1	6.6	特例都道455号
F464E0020-20	77.9	6.1	特例都道464号	

管理事務所	管理番号	延長 (m)	擁壁高 (m)	路線名
第六建設事務所	F319G0610-10	50.0	15.0	主要地方道319号
	F319G0610-20	50.0	15.0	主要地方道319号
	F405G0010-00	127.0	3.0	特例都道405号
	F449G0120-00	324.0	5.7	特例都道449号
西多摩建設事務所	H029G0020-00	140.1	12.0	主要地方道29号
	H411G0280-00-2	75.7	18.8	一般国道411号
	H204G0090	11.0	10.5	一般都道204号
	H205G0155	42.5	11.0	一般都道205号
	H184G0094-00	100.0	3.4	一般都道184号
	H411G0113-00-4	51.7	3.4	一般国道411号
	H411G0052-00-4	46.0	4.3	一般国道411号
	H411G0076-00-4	41.6	3.9	一般国道411号
	H028G0038-00	18.6	5.7	主要地方道28号
	H028G0039-00	18.6	5.7	主要地方道28号
	H031G0005-00-4	100.0	3.5	主要地方道31号
	H205G0144	126.5	8.6	一般都道205号
	H033G0019	135.3	5.4	主要地方道33号
	H206G0383	48.2	12.7	一般都道206号
	H204G0084	43.2	6.0	一般都道204号
	H204G0086	36.9	5.8	一般都道204号
	H206G0345	15.6	4.5	一般都道206号
	H045G0072-00-4	132.4	3.9	主要地方道45号
	H193G0014-00-3	38.9	5.9	一般都道193号
	H193G0070-00-3	49.4	4.6	一般都道193号
	H201G0119-00-4	28.1	3.7	一般都道201号
	H032G0015-00	31.4	8.6	主要地方道32号
	H411G0119-00-4	110.0	8.9	一般国道411号
	H411G0055-00-4	19.5	8.5	一般国道411号
	H005G0010-00-4	230.0	13.0	主要地方道5号
	H005G0020-00-4	178.0	6.4	主要地方道5号
	H238G0033-00-4	68.5	7.8	一般都道238号
	H194G0613-00-3	121.0	5.2	一般都道194号
	H204G0011	40.8	9.9	一般都道204号
	H045G0087-00-4	150.8	5.4	主要地方道45号
	H193G0057-00-3	37.1	4.5	一般都道193号
	H411G0078-00-4	96.7	5.2	一般国道411号
	H411G0138-00-2	66.5	5.5	一般国道411号
	H411G0200-00-2	24.4	8.1	一般国道411号
	H411G0073-00-4	29.5	4.5	一般国道411号
	H194G0611-00-3	113.0	5.1	一般都道194号
	H194G0612-00-3	113.0	5.1	一般都道194号
	H194G0614-00-3	121.0	5.2	一般都道194号
	H202G0062	16.9	8.3	一般都道202号
	H204G0077	85.0	5.4	一般都道204号

管理事務所	管理番号	延長 (m)	擁壁高 (m)	路線名
西多摩建設事務所	H206G0302	58.8	5.9	一般都道206号
	H251G0270-00	142.0	3.3	一般都道251号
	H238G0037-00-4	29.5	5.3	一般都道238号
	H184G0038	28.2	5.3	一般都道184号
	H184G0060	22.9	5.1	一般都道184号
	H204G0001	45.2	5.7	一般都道204号
	H204G0075	40.4	5.7	一般都道204号
	H204G0166	14.3	5.1	一般都道204号
	H251G0170-00	25.0	3.0	一般都道251号
	H184G0008	8.6	4.6	一般都道184号
	H053G0021-00	104.1	3.0	主要地方道53号
	H199G0020-00-4	5.0	4.6	一般都道199号
	H053G0070-00	45.6	2.9	主要地方道53号
	H045G0002	90.3	2.9	主要地方道45号
	H251G0330-00	18.0	4.3	一般都道251号
南多摩東部建設事務所	I018G0310-00	11.0	7.9	主要地方道18号
	I019G0023-00	47.2	2.8	主要地方道19号
	I003G0030-00	52.5	4.2	主要地方道3号
	I047G0150-00	18.0	2.8	主要地方道47号
	I158G0003-00	25.0	2.7	一般都道158号
	I156G0140-00	58.0	6.2	一般都道156号
南多摩西部建設事務所	J256G0090-00	159.3	10.9	一般都道256号
	J046G0010-02	12.0	2.5	主要地方道46号
	J256G0080-00	167.6	3.5	一般都道256号
	J020G0007-50	60.0	3.4	主要地方道20号
	J411G0050-00	59.3	3.2	一般国道411号
	J020G0036-00	54.5	2.0	主要地方道20号
	J160G0160-02	122.6	7.8	一般都道160号
	J159G0030-03	93.0	1.0	一般都道159号
	J032G0210-00	67.0	2.5	主要地方道32号
	J032G0223-00	19.0	2.5	主要地方道32号
	J046G0160-00	46.5	2.5	主要地方道46号
	J169G0400-00	33.8	2.5	一般都道169号
	J189G0010-00	24.0	2.5	一般都道189号
	J020G0030-00	117.3	1.8	主要地方道20号
	J173G0014-00	53.0	2.4	一般都道173号
	J032G0005-00	31.0	2.5	主要地方道32号
	J046G0110-00	15.0	2.5	主要地方道46号
	J046G0116-00	20.0	2.5	主要地方道46号
	J169G0200-04	34.8	2.5	一般都道169号
	J160G0230-00	88.4	5.9	一般都道160号
J156G0060-00	17.5	2.5	一般都道156号	
J156E0010-00	286.0	2.5	一般都道156号	
J156G0080-00	14.0	2.5	一般都道156号	

管理事務所	管理番号	延長 (m)	擁壁高 (m)	路線名
南多摩西部建設事務所	J506G0070-00	23.8	1.4	一般都道506号
	J186G0010-00	28.0	2.5	一般都道186号
	J160G0100-00	50.0	4.4	一般都道160号
北多摩南部建設事務所	K114G0010-00	96.3	0.8	一般都道114号
	K114G0020-00	82.3	1.4	一般都道114号
	K015G0010-00	217.9	5.3	主要地方道15号
	K015G0020-00	173.0	5.5	主要地方道15号
	K015G0015-00	195.1	1.9	主要地方道15号
	K015G0025-00	161.0	1.9	主要地方道15号
北多摩北部建設事務所	L145G0005-00	51.5	3.0	一般都道145号
	L029E0010-03	90.5	8.9	主要地方道29号
	L029E0010-09	48.5	8.6	主要地方道29号
	L029E0010-11	74.9	4.5	主要地方道29号
	L029E0010-07	109.5	8.8	主要地方道29号
	L016E0040-02	158.5	5.0	主要地方道16号
	L029E0010-04	85.5	8.9	主要地方道29号
	L029E0010-05	80.5	8.9	主要地方道29号
	L029E0010-06	80.5	8.9	主要地方道29号
	L029E0010-08	88.5	8.5	主要地方道29号
	L029E0010-01	19.0	8.5	主要地方道29号
	L029E0010-02	17.5	8.5	主要地方道29号
	L029E0010-10	69.5	7.2	主要地方道29号
	L029E0010-12	153.5	4.5	主要地方道29号
	L029G0120-00	19.0	3.1	主要地方道29号
	L149G0020-00	82.5	5.4	一般都道149号
L149G0040-00	33.9	3.6	一般都道149号	
大島支庁	M224G0124-00	155.0	5.4	一般都道224号
	M224G0082-00	53.0	4.1	一般都道224号
	M237G0103-00	38.0	3.0	一般都道237号
	M224G0090-00	51.2	4.2	一般都道224号
	M224G0051-00	150.0	8.5	一般都道224号
	M237G0206-00	40.0	8.0	一般都道237号
	M237G0205-00	38.0	7.5	一般都道237号
	M224G0063-00	37.0	3.9	一般都道224号
	M224G0045-00	144.0	7.3	一般都道224号
	M228G0127-00	34.0	3.2	一般都道228号
	M237G0009-00	29.0	3.2	一般都道237号
	M237G0203-00	30.0	3.5	一般都道237号
三宅支庁	N223G1010-00	63.8	11.1	一般都道223号
	N212G0270-00	90.5	10.2	一般都道212号
	N223G1100-00	44.4	3.5	一般都道223号
	N223G0440-00	29.5	5.9	一般都道223号
	N223G0170-00	39.0	4.0	一般都道223号
	N223G1050-00	46.9	3.0	一般都道223号

管理事務所	管理番号	延長 (m)	擁壁高 (m)	路線名
三宅支庁	N212G0320-00	51.8	4.4	一般都道212号
八丈支庁	O215G0046-00	16.0	3.0	一般都道215号
	O215G0064-00	8.0	2.5	一般都道215号
	O215G0009-00	23.0	2.3	一般都道215号
	O215G0261-00	105.0	6.0	一般都道215号
	O215G0240-00	30.0	5.9	一般都道215号
	O215G0277-00	31.0	4.5	一般都道215号
	O215G0200-00	69.0	6.0	一般都道215号
	O215G0118-00	52.0	10.0	一般都道215号
	O215G0251-00	265.5	9.0	一般都道215号
	O215G0266-00	166.0	7.7	一般都道215号
	O215G0001-00	70.0	6.8	一般都道215号
	O215G0002-00	21.0	9.5	一般都道215号
	O215G0114-00	15.0	4.4	一般都道215号
小笠原支庁	P241G0713-00	140.0	4.2	一般都道241号
	P240G0516-00	64.2	2.5	一般都道240号
	P240G0701-00	189.0	1.0	一般都道240号
	P241G0719-00	35.8	3.9	一般都道241号
	P240G0526-00	36.6	5.4	一般都道240号
	P240G0213-00	165.0	3.6	一般都道240号
	P240G0002-00	10.0	4.0	一般都道240号
	P240G0101-00	90.0	4.4	一般都道240号
	P241G0702-00	39.0	2.5	一般都道241号
	P240G0001-00	30.0	4.4	一般都道240号
	P240G0009-00	16.0	4.4	一般都道240号